

英語科「コミュニケーション英語Ⅱ」学習指導案

実施日時：令和2年7月3日（金）2校時

場 所：2年F組教室

対 象：2年F組

授 業 者：菅原 優子

シーラ・ヒリンジャー

1 単元名 LESSON 2 Into Unknown Territory

教科書：CROWN English Communication II（三省堂）

2 単元の目標

- (1) 羽生善治棋士の強さの秘密、そして人生観を適切に読み取ることができる。
- (2) 関係副詞の非制限用法、受け身・否定の分詞構文、SVO（O=whether 節）の文を理解する。
- (3) インタビューの形式に慣れ、生徒同士でインタビューを実際に行ってみる。

3 単元と CAN-DO 形式での学習到達目標との関連

与えられた条件に合わせて、あらかじめ準備したり、その場で考えたりして話すことができる。

【話すこと（発表）】

4 単元観

本単元は、史上最強の棋士といわれる羽生善治の勝負観、そして人生哲学について取り上げている。羽生の勝負強さの秘密を探り、将棋に必要とされる才能や力とは何かについて、生徒が考える機会にしたい。また本単元は、架空のインタビューという形式を取っているため、実際にインタビューを行っているような雰囲気を出して音読させたい。また表現活動として、既習の文法事項や語彙を使って行う生徒同士のインタビューに繋がりたいと思う。

5 生徒観

男子18名、女子17名の理系クラスで、大半の生徒が大学進学を目指している。全体的に落ち着いた生活態度で、授業に集中して取り組んでいる。教科書の内容について適切に読み取ろうとする意欲がある一方で、自分で常に考えながら主体的に英文に関わっていく力や、自己の意見を積極的に発表する力に個人差が見られる。本単元のインタビュー形式の活動などを通じて、英語を用いて積極的に表現する力を育てていきたい。

6 単元計画（総時間8時間）

1 時間目 …… Overall introduction, Section1（概要把握・新出語句の確認）

2 時間目 …… Section1（内容理解・文法説明）

3 時間目 …… Section2

4 時間目 …… Interview activity (T.T.)

5 時間目 …… Writing activity about interview (T.T.)

6 時間目 …… 「〇〇先生へのインタビュー」のメモを完成させ、クラスで発表する【本時 6/8】

7 時間目 . . . Section3

8 時間目 . . . Section4, EXERCISES

7 単元の評価規準

A コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての 知識・理解
話の要点に注意しながら、積極的に聞こうとしている。聞き取れないことがあれば、質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。	ペアで、実際にインタビューをしているような雰囲気を出して読むことができる。伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	聞いた内容について概要や要点を把握することができる。羽生善治棋士の将棋に対する姿勢を正しく読み取ることができる。	インタビューの形式に慣れる。羽生善治棋士の人生観に触れ、自分も学ぶところがあるかを考える。

8 本時の学習

(1) 目標

「〇〇先生へのインタビュー」のメモをもとに、クラスで発表することができる。

(2) 評価規準

A コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての 知識・理解
話の要点に注意しながら、積極的に聞こうとしている。聞き取れないことがあれば、質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。	ペアで、実際にインタビューをしているような雰囲気を出して読むことができる。伝えたい内容に応じて語句や表現を選択し、適切に書くことができる。	/	/

(3) 指導計画

過程	学習活動 ※生徒の目線で記述【形態】	指導上の留意点 ※指導者の目線で記述【支援】	評価
導入	「〇〇先生へのインタビュー」のメモをもとに、クラスで発表しよう！		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認する。 インタビューで気を付けることを再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の目標を提示する。 ○前時に確認した内容について、思い出しやすいようAL Tから再度要点を説明してもらう。 	A

<p>展 開 40 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生役（本物/偽物）の生徒に、聞き役 の生徒2人がそれぞれインタビューを 行う。【ペア】 ・聞き役の生徒は、インタビューした内 容をプリントにまとめる。 ・聞き役の生徒は、先生役の生徒2人の どちらが本物か、インタビュー内容から 推測する。【ペア】 ・先生役の生徒は、本物のメモを参考 にして発表原稿を完成させる。【ペア】 ・聞き役の生徒が「○○先生へのインタ ビュー」をクラス全体に紹介する。【一 斉】 ・発表した内容は本物か、偽物か、クラ スの生徒 が予想する。【一斉】 ・発表内容が本物であれば、聞き役の生 徒の勝ち、 偽物であれば、先生役の生徒の勝ちとす る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○気を付ける点を守りながらインタビューしているか観察 し、適宜指導を行う。【机間指導】 ○相手の言ったことを適切に聞き取り、プリントにインタ ビュー内容をまとめて書けているか巡回して指導する。 【机間指導】 ○インタビューメモを参考に、先生役2人の答えの相違点 に着目させ、どちらが本物か決定させる。【机間指導】 ○聞き役と先生役の生徒がそれぞれメモをまとめる作業 を、ALTとJTEが役割分担して助言を行う。【机間指 導】 ○大きい声で丁寧に話すことにより、クラス全体にインタ ビュー内容がしっかりと伝わるように発表させる。 【必要に応じてデリバリー面のアドバイスをを行う】 ○発表した内容がクラス全体に伝わっているか確認する。 うまく伝わっていなければ、質問をするよう生徒に促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔評価〕 授業後にインタビューする 側・される側両方のプリントを回 収し、評価する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○インタビュー内容 について、ALT かJTEがコメン トし、クラス全体 で、その先生に関する情報を共有する。 	<p>A B</p>
<p>ま と め 5 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアのインタビューやクラス発表の中 で使用された効果的な表現を再確認し、 ALTからのコメントを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○インタビューやその発表の際に役立つ表現をクラスで共 有する。発表や質問に再度触れることで、さらに理解が 深まるようにする。 	